

栽培漁業技術開発調査(現場対応型簡易二枚貝飼育キットの開発) (経常研究:R4-8)

協力機関 :胆振・網走東部・桧山・釧路地区水産技術普及指導所、いぶり噴火湾漁協、網走水産試験場、網走漁協、網走市、奥尻町、ひやま漁協奥尻支所

研究の背景・目的

北海道での二枚貝類の生産は主にホタテガイであるが、近年道内でもホタテガイの育成に適さない海域が出始めており、このような海域ではホタテガイ以外の二枚貝の養殖に関して要望がある。しかし、養殖試験等に用いる種苗を得るためには、目的とする二枚貝の人工種苗の生産が必要になる。道内には、多くの水産種苗の育成センターが整備されているが、二枚貝類の生産技術には不慣れで、資材も不足している。栽培水産試験場には、これまで多くの二枚貝類の種苗生産の知識・技術が蓄積されており、現場に普及できるレベルに簡易化できる可能性がある。本研究では、二枚貝類の種苗生産を現場でできるように簡易化することを目的とする。

研究内容

1) 餌料培養キットの開発(R4~R8年度 栽培水試)

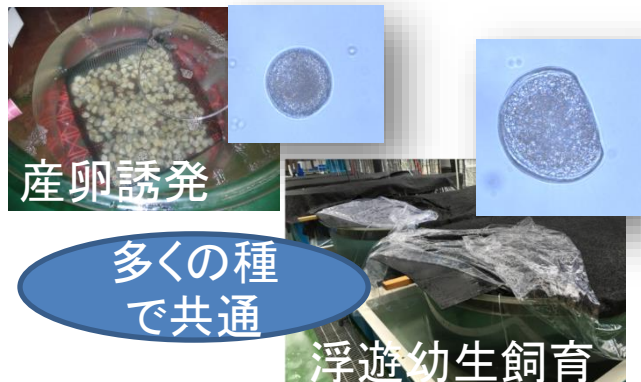
漁協の荷捌き所のような環境で、餌料用微細藻類の培養をするための培養キットを開発する。



浮遊幼生用の初期餌料を自分で培養できるように簡易化

2) 採卵および浮遊幼生飼育キットの開発(R4~R8年度 栽培水試)

漁協の荷捌き所のような環境で、二枚貝類の採卵から浮遊幼生飼育ができる飼育キットを開発する。

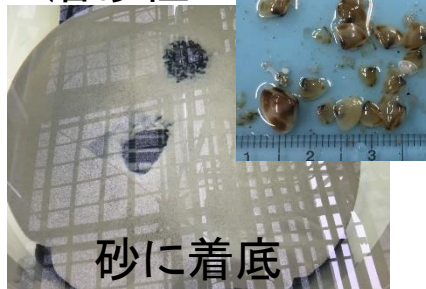


多くの種で共通

3) 着底期飼育キットの開発(R4~R8年度 栽培水試)

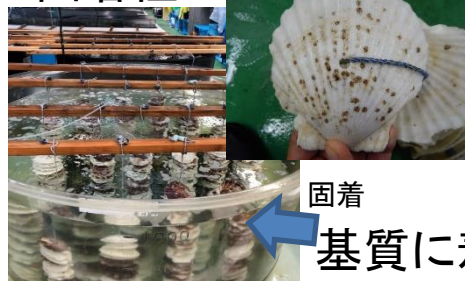
漁協の荷捌き所のような環境で、二枚貝類の着底期以降の飼育ができる飼育キットを開発する。

潜砂性 例) バカガイ



砂に着底

固着性 例) イワガキ



固着 移動可
基質に着底

足糸付着性 例) アサリ



目指す成果

特別な設備を必要とせず、荷捌き所のような環境で二枚貝類の人工種苗を生産できる資材をキット化する。

研究成果の活用

- ・新たに二枚貝の飼育を希望する浜に対し、基本的な飼育資材をキットとして提案できる。
- ・生産した種苗を用いて行う放流及び養殖を通じて、漁業者の収入増大を提案できる。